

公園オープンに向けて、苗木の鉢上げを行いました。

来年3月、城陽市長池周辺に運動公園が開園する予定です。

その公園内に自然を再生させるために植樹活動が行われており、これまでに京都府の方々が多く参加しています。この宇治支援学校でも、高等部のくらし健康コース、くらし地域コース、くらし職業コースの1年生が今年10月に苗木植樹を行うことになりました。

その事前活動として、6月下旬に校内で山城北土木事務所の方たちや森づくりグループの方たちの御協力のもと、ウバメガシとコナラの苗木の鉢上げ作業を行いました。（山城北土木事務所の方たちは、道路・街路・公園事業等の調査・設計・工事の実施をされています。森づくりグループの方たちは運動公園で「再生の森づくり」のために結成された府民ボランティアのグループで、苗木作りから公園の計画作りまで、様々な活動に取り組まれています。）

当日はあいにくの雨で校舎内での作業になりましたが、各コース1年生がコースを超えて、お互いを意識し、協力しながら作業に取り組むことができました。

鉢上げとは、苗木を小さいポットから大きなポットへ移し替える作業で、一見すぐに終わりそうですが、初めての作業に加え、生きている植物を扱うため、慎重に優しく丁寧に扱わなければなりません。苗を傷めないような持ち方や、優しく土を入れることなどをポイントに、山城北土木事務所の方たちや森づくりグループの方たちの指導を聞き、「すくすくと育ってきた苗木の根がより広く根を張りますように」「更に大きく成長しますように」と願いを込めながら、友だちと確認しながら作業を行いました。

協力していただいた山城北土木事務所の方たちや森づくりグループの方たちからは、「生徒が働くことを楽しんでいるように感じた」「このような活動を一緒にできる機会が大切だと感じる」と感想をいただいています。これからも、地域の方たちと共に、色々な場面や思いを共有することのできる宇治支援学校でありたいと思います。

「自分たちが植えた木が公園に根を張り、自分たちの成長と共に大きく育っていきますように」「自分たちが自分たちの町の公園作りに関わっている」そんな思いで、10月までしっかりと苗木を育てて行きたいと思っています。

